



Honjo Rotary Club weekly report

Rotary International District 2570 Group 4

No.52-10 第2489回 例会2014年9月11日 (木)

ガバナー公式訪問

会 長 萩原達夫 会長エレクト 茂木 正
副会長 洪澤健司 佐藤賀則 茂木 聡 幹事 五十嵐敦子
2014～15年度国際ロータリー会長 ゲイリー C.K. ホアン
第2570地区ガバナー 坂本 元彦

進 行：SAA 土屋 進
ソング：われらの生業・四つのテスト

点 鐘：午後12：30分 萩原達夫 会長

会長挨拶 萩原達夫 会長

本日はガバナー公式訪問です。それでは来訪者の紹介をします。

来訪者紹介

国際ロータリー 2570 地区ガバナー

坂本元彦 様 (富士見 RC)

国際ロータリー 2570 地区ガバナー補佐

矢島淳一 様 (本庄 RC)

富士見ロータリークラブ会長 栗原 平 様

地区大会実行委員長 阿部晋一郎 様 (富士見 RC)

富士見ロータリークラブ広報副委員長
荒城幸夫 様

です。本日はよろしくお願ひします。

坂本ガバナーの方針の中に研修という言葉が沢山出てきます。私も幾つかの研修に参加させていただきました。参加する前は面倒だったり、億劫と感じる事があります。何の為に研修に行くのか分からないで行ったこともありましたが、しかしその時その研修で学んだのは自分を知るという事でした。他人の事を知るのには、そんなに難しい事ではありませんが、自分の事を明らかにするのは非常に難しい事です。自分はどのような人柄でどのような人格をそなえているか、家庭や職場でどのような影響を与えているか自分を知る必要があるという事に気づかせられる研修でした。自分の人生を幸せにしたいと思ったら自発的になる事が必要という学びです。これは今の私にとってとても重要でタイムリーな勉強でした。幸せになる根源は自分自身です。自分の可能性に気づけば、それが発揮されるのを妨げている要因に気づきそれを取り除いてゆく事ができます。

ここで坂本ガバナーが云う研修というのはロータリーことを知るためのものだと私は思います。

そして、ロータリーを知ったうえで自分の持っている可能性と価値をどこで使えるか、考える事です。クラブ奉仕、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕、青少年とまずは自分に与えられたジャンルにチャレンジして学んでいく事が大切と考えます。

学ぶという事は億劫であり、面倒です。しかし学び続けるから人間だと云った方もおりました。また知識だけではだめだとも言っています。得た知識を坂本ガバナーのテーマである<行動>に起こさなければいけないという事ではないでしょうか。

人間の習性は変化に対して対応する事が苦手な面を持っています。

今まで通りというのが抵抗がなくて楽です。しかし、行動する事によって得られる新たな変化が感動と歴史を創ります。

今回の公式訪問で坂本ガバナーに提案していただいた協議会での方法を本庄 RC で受け止め、お集まりのメンバーと共に話し合ってより良いものとしたしたいと思います。

人間の幸せはほとんどの場合人間関係の中に存在します。ロータリーは正に人と人のつながりなので、是非せつかく出来た機会を逃さないように最後まで参加していただきたいと思ひます。

幹事報告

五十嵐敦子 幹事

- 1、本庄市観光協会より「本庄まつり」献燈(提灯)の協賛についてのお願い
- 2、2570地区ロータリー財団奨学事業より「学楽友会だより」が届いています。
- 3、来週移動例会 映画鑑賞「うまれる」がごだま企画「キッポ」に掲載されています。



ロータリーの友紹介

政 裕美子 会員

バナー交換 栗原平会長へ萩原達夫会長より



**卓話 国際ロータリー第2570地区
ガバナー 坂本 元彦 様**

I. 地区テーマ

「行動、ACTION」

何もしないでいるよりは、行動しようということです。このためには研修が重要だと思います。研修してそして行動しましょう。



II. 地区の方針 (RIの長期戦略に基づく)

- ① 会員増強
- ② 研修の充実
- ③ ロータリーデーの開催
- ④ 従来通りのプログラムの地区内への広報のあり方を見直し検討する。
- ⑤ 地区賦課金について

III. 戦略計画の3つの優先項目

中核的価値観 (奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ) を基本とする。

- ① クラブのサポートと強化(会員増強、クラブリーダーの育成等)
- ② 人道的奉仕の重点化と増加 (ポリオの撲滅、青少年の支援等)
- ③ 公共イメージと認知度の向上

IV. 各奉仕部門について

- ① クラブ奉仕部門 ② 職業奉仕部門
- ③ 社会奉仕部門 ④ 国際奉仕部門
- ⑤ 青少年奉仕部門 ⑥ ロータリー財団部門
- ⑦ ロータリー米山記念奨学部門

今年度も第 2570 地区が引き続き継続性を持った良いプログラムが継承出来てより良い地区になる様に、皆様、共に頑張りましょう。

ニコニコBOX報告

「坂本元彦ガバナーようこそお越し下さいました。心より歓迎いたします。」

萩原達夫	五十嵐敦子	荒城幸夫	栗原 平
阿部晋一郎	渋谷修身	下山正男	中島高夫
八木茂幸	関根 貢	高橋福八	田中 克
長谷川京子	金井福則	笠原 勝	巴 高志
竹並栄一郎	梅村孝雄	岡崎正六	福島文江
茂木 聡	政裕美子	佐藤賀則	高柳育行
町田博文	内野昭八郎	山本道彦	加藤玄静
飯塚明男	今泉憲治	中村 孝	

矢島淳一 ガバナー補佐
「本日はお世話になります。」

出席報告

会員数	出席免除 会員数	出席義務 会員数	出席 会員数	出席率
74 名	9 名	65 名	50 名	76.9%

次回プログラム発表

9月18日(木) 第3例会 商工会議所大ホール
9:30受付 10:00~12:00
映画鑑賞「うまれる」



広報雑誌委員会 山田喜一・高橋祐介・小杉公良・笠原 勝・梅村孝雄

■例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
■事務所 埼玉グランドホテル本庄700号
〒367-0041 本庄市駅南2-2-1
TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

■例会場 埼玉グランドホテル本庄
Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp
ホームページ
<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>